

事例) エポスカード：自分のペットのクレジットカード

ペットの写真の世界に1つだけのクレカ 保護犬猫支援の社会貢献もできる

エポスカードは、2024年3月より、オリジナルデザインのクレジットカードが持てるエポスオンリーワンカードの第一弾として、エポスペットカードの発行をスタート。ペットの写真を専用サイトにアップロードし、その写真が券面のデザインになる仕組み。大切なペットのお気に入りの瞬間を普段使うクレジットカードに表現できる。また、利用額の0.1%が保護犬猫を救う活動をする団体に寄付される仕組みで、日々の買い物で社会貢献ができる。丸井グループの26年までの中期経営計画では、「一人ひとりのしあわせを共に創る」と設定し、「一人ひとりの好きを応援」する取り組みを今後も推進していく予定。



※画像はイメージです



ポイント

①愛着を通じて利用頻度を増やすアプローチ

日々の買い物も大好きなペットと一緒に、という切り口で、ペット愛好家の利用頻度が増える。券面のほぼすべてが写真で構成されるデザイン。

②無加工画像のみ使用可能、無断転用を防止

使用できるのは、自分、家族またはパートナーのペットのお気に入りの無加工写真1枚のみ。日常を切り取った1枚でオリジナリティを出しやすく、同時に無断転用を防止する仕組み。

③社会的意義、利用額0.1%が保護犬猫支援に

利用額の0.1%が自動的に保護犬猫支援団体に寄付される仕組みで、社会的意義もたらず1枚に。ペット愛好家はペットを取り巻く社会問題への共感力も相対的に高く、このこともカード利用を後押しする。